



観月茶会 「sora かさい」で3年ぶり開催

加西市茶道協会が主催するお茶席を3年振りに開催しました。今年は鶉野飛行場跡「sora かさい」に会場を移し、当日は晴天にも恵まれお琴の演奏を聞きながら約200名が秋の夕べを楽しみました。

また、「sora かさい」を夜間特別開館し、ライトアップされた紫電改や九七式艦上攻撃機を見ていただきました。



秋の知らせを運ぶヒガンバナ 100mにわたり咲き誇る

東横田町の北条鉄道踏切近くで、今年も100mにわたってヒガンバナが咲き誇りました。近くに住む山本六良太夫さん(92)が10年ほど前に球根を植え、手入れをしながら徐々に増やしていきました。今では秋の風物詩となり、市外からもたくさんの写真愛好家が撮影に訪れています。山本さんは「喜んでもらえたらそれでいい。うれしいことです。来年もやりますよ」と笑顔で話してくれました。



市制55周年記念 加藤登紀子さん 日本酒の日コンサートを開催

「加藤登紀子 日本酒の日コンサート2022」が10月1日、市制55周年を記念して加西市民会館文化ホールで開催され、市内外から約700人が訪れました。コンサートは2部制で、前半は「知床旅情」など11曲を披露。後半は加西混声合唱団ヴォルケとともに代表曲の「百万本のバラ」と新曲の「乾杯!」を歌い上げました。コンサートは大盛況のうちに終え、来場者へはお土産として加西のお酒が配られました。



ひきこもりを考えよう 医療や教育関係者ら連携を強化へ

9月12日、市民会館で福祉職・教育職・介護職・医療職60名が参加するひきこもり研修会を加西市障害者自立支援協議会主催、加西市地域福祉課協力で開催しました。神戸市看護大学の船越教授から、ひきこもりの家族支援について講演があり、その後グループワークで意見を出し合いました。今後は連携して支援できる体制作りにつなげていきます。



歩道ブロックの間隙から 「ど根性〇〇」発見

北条町横尾にある横尾交差点付近の歩道でウリ科と思われる植物が、ちいさな実をつけているのを市民の方が発見しました。歩道のブロックの間隙からツルを伸ばした植物は電柱を取り囲み、黄色のかわいらしい花を咲かせています。周りにほぼ土のない環境にもかかわらず、ど根性でツルを伸ばしています。スポーツの秋。外を歩いてみると、たくましく成長する植物に出会うかもしれません。



※発見した植物は、葉や花の特徴からウリ科の植物と思われます。県農業改良普及センターに確認しましたが、実が小さく詳細は不明とのことでした。

播磨農高生 葉ボタンの苗をシニアクラブに配布

9月14日、15日に「花いっぱい運動」の一環で、各町のシニアクラブへ播磨農高の生徒が育てた葉ボタンの苗を配布しました。生徒は手作り説明書を見せながら、葉ボタンの種類や栽培方法についてシニアクラブの方々との会話をしました。「さんごやクリスタルなど珍しい形の葉ボタンをオススメしたところ、もらってくれて嬉しかった」と生徒は話しました。各シニアクラブが管理する花壇に植え替えられ、冬にはきれいに色づきます。



子どもたちポスターで訴え 秋の交通安全運動に合わせて展示

加西市・加西警察署・加西交通安全協会は、令和4年度交通安全ポスターの審査会を開催し、結果を発表しました。作品は、交通安全対策の一環として、子どもたちの意識を高めるため、市内小・中学生を対象に募集。小学生353作品、中学生169作品、合計522作品の応募がありました。各学年の優秀賞1作品、入賞3作品、合計36作品は、11月1日から7日までアステシアかさいで展示します。



地域を守る！ 農地の活用に向けてパトロール

加西市農業委員会(吉田一男会長)は、このほど、農地パトロールを農業委員、農地利用最適化推進委員、農政課、事務局職員で行いました。農地パトロールは、農地利用の最適化の推進に向けて、利用状況を的確に把握するための重要な業務です。なお、農地パトロールは、9月2日から9月29日の期間で実施しました。

